

国立国語研究所学術情報リポジトリ

明治初期翻訳小説の漢語

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 飛田, 良文 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002980

第一部

1 明治初期翻訳小説の漢語

言語変化研究部 第二研究室長 飛田良文

1. 漢語研究の方法

〈話し言葉〉 話し手

- 漢語を使い、理解できた人
- 漢語を使い、理解できなかった人
- 漢語を使わず、理解もできなかった人
- 漢語を使わず、理解はできた人

〔都鄙新聞〕 卷之一 慶応4年5月

コノコカヘガ^ガ ゲイコマイコ^コ モツハ^ハ カラコトバ^バ リンウ^ウ ボンチ^チ キンギョ^ョ タツサウ^ウ ヒハチ^チ イン
 此頃鴨東ノ芸妓少女ニ至ルマテ専ラ漢語ヲツカフ^フトヲ好ミ霖雨ニ盆池ノ金魚カ脱走シ火鉢カ因
 ジユン^ン 循シテキルナト何ノワキマエモナクイヒ合フ^フトナレリ又ハ客ニ逢フテ此間ノ金策ノ事件ニ付
 アンバク^ク 建白ノ御返答ナキハ如何カナト実ニ聞ニ堪エサル^ル也(京都祇園新地之話)

〔漢語字類〕 庄原謙吉輯 明治2

ハウコンケイウンサカン^ン フンクワ^ワ セイレイハウウ^ウ ケイソク^ク シセイリヨエン^ン グンダンロンギ^キ
 方今奎運盛ニ開ケ文化日ニ新タナリ上ミハ朝廷ノ制令方伯ノ啓奏ヨリ下モ市井閭閻ノ言談論議
 マジ^ジ ニ至ルマテ皆多ク雜ユルニ漢語ヲ以テス而シテ童蒙ノ士之ヲ目シテ読ム能ハス之ヲ耳シテ解ク
 トイ^イ
 能ハス甚シキハ口ニ説テ心ニ知ラサル者アリ(序例)

〔漢語函解〕 弄月亭著編 明治3

カダシマウコン^ン ありさま^マ おも^も けいけん^ン すみぶんくわますまれひらけ^ケ かみ^ミ てんてり^リ おふれい^イ かしこり^リ けんせう^ウ しもしぞく^ク
 蓋方今ノ形勢を思ふに。奎運日々進文化益々開。上ハ天朝ノ御布令。中諸侯ノ建奏。下市俗の
 むんぎ^キ ゆうじよけい^イ ざうだん^ン まで^デ かんご^ゴ まじ^ジ さばれ^レ ふよう^ウ と^ト うち^チ みみ^ミ きき^キ ち^チ と^ト な^ナ
 論議及び遊女弦妓の雑談迄。漢語を交えざるハあらじ。遮莫婦幼の徒の中にハ。耳に聴口に唱
 こと^ト しら^ラ もの^ノ
 て意に絆を知らざる者あり。

〔浮雲〕 二葉亭四迷 明治20-22 <女中「鍋」を批評したことは>

ことば^バ ま^マ まるつきり^キ だ^ダ い^イ わか^カ ほん^ンと^ト けうい^イく^ク
 私の言葉には漢語が雑ざるから全然何を言ったのだから解りませんで……真個に教育のないとい
 もの^ノ しや^ヤり^リ
 ふ者は仕様のないもんです子 <お勢→文三>

〈書き言葉〉 読み手

- 漢字を読める人
- 片仮名を読める人
- 平仮名を読める人

〔西洋道中膝栗毛〕 仮名垣魯文 明治3-9

北「弥次さんおめへ読ンでくんねへ。おいらしかくにア四角はツた字があると蹴つまづいてよみにく
いからヨ（八編下、日記をよむ場面）

〔平仮名ノ説〕清水卯三郎 明治7

片仮名ヲ知ル者モ亦天下多シトセズ是ヲ以テ余ハ只平仮名ヲ用フル^レヲ主張ス凡平仮名ノ通常
タル招牌暖簾裏帖稗史ノ類観テ見ルベシ

〔女書生繁〕河竹黙阿弥 明治10

聞かれてまことに面目めんぼくないが、倅せがれは牛島学校へ六つの年から上げたお蔭かげで、どんなむづかしい
お触ふれでもさつさと読めるけれど、おれは少しも読めねえから、倅せがれが居ゐねえ其時そのときは、只判ただはんを押し
て廻まわすばかりだ。〈植木屋の言葉〉

〔平凡〕二葉亭四迷 明治40

成程父なるほどちちは教育けいいくといつても、昔むかしの寺小屋教育てらこやぎりで、新聞しんぶんも漢語字引かんとじびきと首引くびびきで漸く読み覚えたといふ人だから

〈教育機関〉 〈テキスト〉 〈生徒（読者）〉

藩校……………漢籍……………士族

寺子屋……………往来物……………町人

2. 漢語研究の資料

- (A) 日本人の公的著作（学術書・啓蒙書・教科書・小説・脚本など）
- (B) 日本人の私的著作（手紙・日記など）
- (C) 外国資料（日本語文典・会話書・対訳辞書など）
- (D) 翻訳資料（学術書・啓蒙書・入門書〈直訳物・独案内物〉会話書・小説など）
- (E) 速記資料（落語・講談・演説など）
- (F) 録音資料
- (G) 日本人の日本語研究（文法書・調査報告書・辞書など）
- (H) 総合資料（新聞・雑誌）

〈文体の種類〉

- (a) 漢文 (b) 漢文直訳体 (c) 和文体 (d) 候文体 (e) 欧文直訳体
- (f) 言文一致体（口語体）

〈明治初期の翻訳〉

〔無類英学童子解〕青木輔清 明治18

原語ジツジリヲ字綴ボクヨミノ通りニ棒読ホウヤクニスルハ、則チ彼国ノ言語ナリ、之ニ邦訳ホドコヲ施シ、転動カヘリヲ附ケテ一語
モ残タガチラズ、直ニ之ヲ読ムチヨクヤクヲ直訳ト云ヒ、又原語ノ順序ジユンジヨニ拘ラズ、唯原文ノ意味トリヲ探テ之ヲ我が

文ニ翻案シタルヲ翻訳ト云フ

3. 調査対象と調査単位

<花柳春話の文体と読者>

[通俗花柳春話・叙]

原文……リットン作「アーネスト・マルツラバース」「アリス」

欧州
奇事 花柳春話(明治11)……漢文直訳体……漢字片仮名交り文……成童男子

通俗花柳春話(明治17)……和文体……漢字平仮名交り文……婦女児童

<調査単位>

調査単位は、文節から助詞・助動詞を除いたものであるが、漢語については、次のように扱った。

(1) 並立語は一単位とする。

<例> 真善美・花鳥風月・唯々諾々・一小屋一美屋

(2) 連体修飾語＋被修飾語は一単位とする。

<例> ○○式○○・○○的○○・普通学士・人實交際

(3) 「漢語＋漢語」＋の＋体言の関係で「漢語＋漢語」が主述の関係、連用修飾語＋被修飾語の関係にあるものは一単位とする。

<例> 風日美妍ノ好時節・一笑傾国ノ風姿

(4) 「漢語＋数詞」の関係で、連体修飾語＋被修飾語の関係にあるものは一単位とする。

<例> 午後五時・短歌一篇

(5) 人名の姓と名は切らない。

4. 漢語と文体との関連

<計量的分析>

語種からみた漢語(第1表) 品詞からみた(第2・3表) 漢語の字数の分布(第4表)

<文体的分析>

漢文直訳体の漢語は和文体ではどう対応するか。

- ① 一字漢語の場合(対応類型) ② 二字漢語の場合 ③ 三字漢語の場合
④ 四字漢語の場合 ⑤ 五字漢語以上の場合

5. 漢語の語構成と文体との関連

6. 明治初期翻訳小説(漢文直訳体と和文体)の漢語の特色

第1表

	異なり語数		延べ語数	
	欧州奇事	通俗	欧州奇事	通俗
和語	759 (27)	2,168 (76)	5,426 (58)	8,520 (84)
漢語	1,389 (51)	499 (17)	2,649 (28)	963 (9)
外国語	44 (2)	41 (1)	421 (4)	403 (4)
漢外・和外混種語	13 (0.5)	15 (0.5)	25 (0.3)	28 (0.3)
和漢混種語	507 (19)	142 (5)	873 (9)	223 (2)
計	2,712 (100)	2,865 (100)	9,394 (100)	10,137 (100)

第2表 (異なり語数)

	欧州奇事花柳春話						通俗花柳春話					
	名	動	形	形動	副	連・接・感	名	動	形	形動	副	連・接・感
和語	181	389	41	18	106	24	826	893	131	44	225	49
漢語	1351				38		490				9	
外国語	44						41					
漢外・和外混種語	13						15					
和漢混種語	10	333		151	13		29	83		23	7	
計	1599	722	41	169	157	24	1401	976	131	67	241	49

第3表 (延べ語数)

	欧州奇事花柳春話						通俗花柳春話					
	名	動	形	形動	副	連・接・感	名	動	形	形動	副	連・接・感
和語	1581	2162	206	89	1007	381	3602	2867	497	111	1064	379
漢語	2567				82		937				26	
外国語	421						403					
漢外・和外混種語	25						28					
和漢混種語	15	623		186	49		38	142		32	11	
計	4609	2785	206	275	1138	381	5008	3009	497	143	1101	379

第4表

	異なり語数				延べ語数			
	欧州奇事		通俗		欧州奇事		通俗	
	名詞	副詞	名詞	副詞	名詞	副詞	名詞	副詞
一字漢語	176		88		816		307	
二字漢語	1047	37	345	9	1577	81	561	26
三字漢語	54	1	30		82	1	38	
四字漢語	67		23		84		27	
五字漢語	2				2			
六字漢語	4		3		4		3	
七字漢語								
八字漢語	1				1			
九字漢語	1		1		1		1	
計	1352	38	490	9	2567	82	937	26